

記載例

農業経営改善計画認定申請書

年 月 日

目標年は、5年後としてください。
(申請：令和3年→目標：令和8年)

申請者	住所	胎内市新和町2番10号		連絡先	0254-43-6111
	フリガナ	タイナイ	タロウ	フリガナ	
	個人・法人名	胎内 太郎		代表者氏名 (法人のみ)	
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和29年1月1日		法人番号	

■該当する営農類型にチェックをして下さい。

農業経営基盤強化促進法（昭和55年）

- 「単一経営」とは、経営体毎の農産物販売金額1位の部門（作目）の販売金額が、農産物総販売金額の80%以上を占める経営をいいます。
- 「複合経営」とは、経営体毎の農産物販売金額1位の部門（作目）の販売金額が、農産物総販売金額の80%に満たない経営をいいます。
- 「工芸農作物」とは、さとうきび、たばこ、茶、てんさい、こんにゃくいも、なたね、いぐさ、ホップ、ごま、はっか、じょちゅうぎく、ラベンダー、薬用作物などの作物をいいます。
- 「その他の作物」には、芝、種苗、栽培きのご類（施設栽培を含む）、桑葉、牧草等の販売を含みます。
- 「その他の畜産」には、養蚕、馬を肥育しての販売、めん羊、やぎ、うさぎ、うずら、その他の毛皮獣及びミツバチの飼養等の販売を含みます。

① 農業経営体の営農活動の現状及び目標

(1) 営農類型

現 状	目 標 (年)
<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 () <input type="checkbox"/> 複合経営	<input checked="" type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類作 <input type="checkbox"/> 雑穀・いも類・豆類 <input type="checkbox"/> 工芸農作物 <input type="checkbox"/> 露地野菜 <input type="checkbox"/> 施設野菜 <input type="checkbox"/> 果樹類 <input type="checkbox"/> 花き・花木 <input type="checkbox"/> その他の作物 () <input type="checkbox"/> 複合経営
<input checked="" type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 酪 農 <input type="checkbox"/> 肉用牛 <input type="checkbox"/> 養 豚 <input type="checkbox"/> 養 鶏 <input type="checkbox"/> 養 蚕 <input type="checkbox"/> その他の畜産 ()

(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標

	現 状	目 標 (年)		現 状	目 標 (年)	主たる従事者の人数
年間所得	250万円	400万円	年間労働時間	3,500時間	3,400時間	
主たる従事者1人 当たりの年間所得	250万円	400万円	主たる従事者1人 当たりの年間労働時間	1,500時間	1,400時間	

② 「年間所得」欄は、生産・加工・販売・その他の関連・附帯事業に係る所得について、**売上金額ではなく、経費を差し引いた金額を記載してください。**
※達成目標額は1人あたり400万円以上です。

(耕 種)	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量	(畜 産)	飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量
水稻	500	27,000	700	37,800	繁殖雌牛	1	1	10	10

■自家用野菜など、販売を目的としない作目は書かないでください。

(2) 農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業（売上げ）

事 業 内 容	現 状	目 標 (年)
	円	円
	円	円
	円	円

■主たる従事者とは、
・個人の場合、経営者（主に世帯主）を、
・法人の場合、役員など主に作業を行っている方を言います。

ア					イ 農業生産施設									
<p>■ 前のページの「②農業経営の規模拡大に関する現状及び目標」に記載した面積と合計を一致させてください。</p> <p>※作付けを行っていない所有地など、目標所得を達成するために影響しない土地は含めないでください。</p>					現状 (a)	目標 (a)	種別	所在地		規模				
								都道府県名	市町村名	現状		目標 (年)		
										棟	m ²	棟	m ²	
					150	150	牛舎	新潟県	胎内市	1	20	1	200	
借入地	新潟県	胎内市	田		350	550								
その他														
経営面積合計					500	700					1	20	1	200

■ 農畜産物の生産の用に供する施設を記載してください。
(パイプハウス、畜舎など)
※面積の単位はm²となっていますのでご注意ください。

③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置

現状～が課題なので、～を目指して、～を行う。

■ 農地の集積・集約化、GAPの導入、生産の効率化・高度化、スマート農業の推進、新技術の導入、有機農業の推進等の目標・措置について記載してください。

④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置

■ 簿記帳等の会計処理、経営内役割分担、経営の法人化、高付加価値化・ブランド化、新たな販路拡大や新製品の創造等の目標・措置について記載してください。

⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置

■ 人材確保に向けた就業規則等の整備(休日制の導入)、相続・経営継承に関する取組、家族間の役割分担等(家族経営協定を締結している場合)等の目標・措置について記載してください。

⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置

■ ③～⑤以外(6次産業化への取組、有利販売の取組(有機・減々等)、園芸品目の導入、直売所への出荷等)の目標・措置について記載してください。
また、農業資金の借入を検討している方は記載してください。

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員										(2) 雇用者					
氏名 (法人経営にあつての氏名)	現状			見通し (年)			常時雇 (年間)		実人数	現状	人	見通し	人		
	業務	主たる従事者	年間農業従事時間	担当業務	主たる従事者	年間農業従事時間	臨時雇 (年間)	延べ人数							
胎内 太郎	67	男	本人	農作業全般	○	1,500	農作業全般								
胎内 花子	65	女	妻	農作業全般		1,200	農作業全般								
胎内 一郎	42	男	長男	農作業全般		800	農作業全般	○							

■ 「主たる従事者」欄には、主たる従事者である場合には○を記載してください。

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
田植え機	1台
コンバイン	1台
トラクター	1台
ドローン	1台
色彩選別機	1台

■ 生産方式の合理化のために、**新たに取得する予定**の農業用の機械及び装置、器具及び備品等があれば記載してください。

※ **農業経営基盤強化準備金制度を活用される場合、この欄に記載がない機械は制度の対象となりませんのでご注意ください。**

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(② 「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)